

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2013
September

No.138

9



JA全農ぐんま

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組めます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組めます。



事業のうごき 9

営農総合支援センター

- 野菜の生産拡大のための取り組み支援
- J A 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく生玉取扱推進
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進 (入札の実施)
- きのこ種菌及び資材推進
- 群馬県産トマトジュース推進
推進目標 8,500ケース
推進期間 平成25年9月1日(日)～10月31日(木)
- 晩秋蚕繭集荷推進

園芸部

園芸販売課

- 共計雨除けほうれん草販売 (周年)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12/末日迄)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計にがうり販売 (9/末日迄)
- 共計オクラ販売 (9/末日迄)
- 共計みょうが販売 (9/末日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3/末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 秋冬用野菜出荷資材予約・当用推進
(段ボール・パック・フィルム・果樹用資材等)
- 低コスト段ボール推進
(A K ライナー・新形状段ボール等)
- 温床資材予約推進
(農ポリ・トンネル資材・こんにゃくマルチ等)

- 秋冬用野菜種子推進 (ほうれん草・ねぎ・きゅうり等)
- 種馬铃薯予約注文取りまとめ

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
9月20日(金)～23日(月) 秋の大園芸祭
9月21日(土) 午前市
- ☆愛菜館
9月8日(日)、18日(水)、28日(土) 8の日お米特売
9月21日(土) 午前市
- 造園工事推進

肥料農薬課

- 麦肥料推進
- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成25年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進



第26回枝肉フェスティバル
(7.31～8.2 株群馬県食肉卸売市場)

■品質向上へ向けて高め合う

系統造成豚利用研究会利用農場の豚肉の資質向上を図るため、肉豚一貫生産体系により生産された枝肉の斉一性をより一層追及し、銘柄豚としての流通体系の確立を図ることを目的とした「第26回枝肉フェスティバル」が、7月31日(水)～8月2日(金)に(株)群馬県食肉卸売市場にて開催されました。

出品頭数は1会員2頭(雌1頭・去勢1頭)とし、審査員による厳正な審査の結果、入賞者が決定しました。最優秀賞受賞者をご紹介します。

■個体の部

(雌)		(去勢)	
JA赤城たちばな	(有)森田養豚	JA赤城たちばな	(有)斉田ファーム
JA赤城たちばな	星野 陽作	JA前橋市	黒崎 伸一郎

■総合の部

JA赤城たちばな	星野 陽作
----------	-------



Menkoiガールズ・サラダ来会
(8.20 JAビル)



平成25年度TAC活動研修会【管理者向け】
(8.21 前橋市内)

■レシピ型の歌詞できゅうりをPR

8月20日(火)、JA邑楽館林と提携し地域農業を応援しているアイドルグループ「Menkoiガールズ・サラダ」が来会し、「きゅうりちゃん音頭」を含む4曲を披露しました。JA邑楽館林の小池組合長は、「きゅうりの応援ソングが消費拡大・購買意欲促進に繋がることを期待しており、県内外のスーパー等で積極的にPRしていきたい。是非子供たちにも覚えて欲しい。」と挨拶しました。元気いっぱいのパフォーマンスを見せてくれたMenkoiガールズ・サラダには、集まった各連合会の役職員から暖かい拍手が贈られました。

■管理手法を学び業務にいかす

8月21日(水)、県営農総合支援センターでは、今後のTAC活動に向け、担当者を束ねる管理者としての役割を再認識すると共に情報の共有化を図ることを目的とした「平成25年度TAC活動研修会【管理者向け】」を開催しました。研修会には、TAC活動に取り組む県内12JAの管理者をはじめ、当県本部の担当職員等が出席し、主催者による情勢報告や、千葉県の子長による「TACの役割と課題について」と題した基調講演、JAはぐくみによる事例報告等が行われました。



秋冬野菜定植講習会
(8.24 花木流通センター収穫体験農園)

■基礎から学ぶ家庭菜園

花木流通センターの収穫体験農園では、消費者を対象とした様々な講習会開催しています。8月24日(土)に行われた「秋冬野菜定植講習会」では、生産者の加藤氏を講師に迎え、ブロッコリー・キャベツ・白菜の栽培に関する講義を行いました。初心者から経験者まで、幅広い層に対応した指導が人気で、参加者はメモを取りながら熱心に受講していました。

9月21日(土)・22日(日)に「ほうれん草」を、10月26日(土)・27日(日)には「たまねぎ」の栽培講習会を開催する予定です。

■日頃の感謝の気持ちを込めて

8月30日(金)、(株)群馬県食肉卸売市場グラウンドにおいて、JA佐波伊勢崎・JA高崎ハム(株)・(株)群馬県食肉卸売市場・当県本部共催の「総合食肉センター感謝祭」が開催されました。この催しは、当県畜産事業に対する地域の理解と協力に感謝すべく行われ、挨拶に立った長岡会長は、「これからも高度な衛生管理施設で、安全・安心な食肉を提供していきたい。」と話し、地域の方々への感謝の気持ちを述べると共に県産畜産物のPRを行いました。会場では、上州牛・上州麦豚の試食やJA高崎ハム(株)商品の販売、ステージでの音楽イベント等が行われ、多くの家族連れで賑わいました。



総合食肉センター感謝祭
(8.30 (株)群馬県食肉卸売市場グラウンド)



JA 佐波伊勢崎 JAラ♡ラ♡タウン竣工記念式
(8.31 JAラ♡ラ♡タウン)

■「JAラ♡ラ♡タウン」オープン！

8月31日(土)、JA佐波伊勢崎において、「JAラ♡ラ♡タウン」の完成に伴う竣工記念式が開催されました。JAラ♡ラ♡タウンは、金融店舗(みやごう支店)としての機能だけでなく、ローンセンター・不動産センター・旅行センター・ギフト館・ブライダル関係など、様々な機能をもった複合施設で、9月17日(火)にオープンしました。挨拶に立った児島組合長は、「多様な消費者ニーズに対応した、素晴らしい施設に期待している。今後も、地域に信頼されるサービス提供に努めていきたい。」と話しました。なお、施主代行を務めた当県本部には、JA佐波伊勢崎より感謝状が贈呈されました。

上州和牛 香港フードエキスポ2013へ出展

8月15～17日 香港 コンベンション&エキシビジョンセンター

アジア最大級の食の国際博覧会「フードエキスポ2013」が、8月15日(木)より香港で開催されました。24回目の開催となる今年は、世界26カ国・地域が参加しており、日本からも多くの団体が出展しました。群馬県では、県と群馬県農畜産物等輸出推進機構が出展者として、初めて「上州和牛」としてのブースを構え、(株)群馬県食肉卸売市場と共に当県本部もPR活動を行いました。

15・16日(金)の2日間に関しては、貿易や流通

関係等のバイヤーに対し試食を提供し、上州和牛の魅力について説明を行いました。会場での販売はなかったものの、バイヤーからは購入希望の声も多く、購買意欲の高さを感じました。

開催3日目の17日(土)は、一般消費者の入場が無料開放され、パンフレットの配布による宣伝と試食を中心に行いました。香港の消費者も食に対する意識が高く、担当者の説明を熱心に聴いていました。



▲ 上州和牛ブース



▲ 試食提供の様子



▲ 賑わう会場の様子

8月31日は「やさいの日」!各地でイベントを開催

JAグループでは、8月31日(土)の「やさい(野菜)の日」に合わせ、青果物の消費拡大と消費者の理解促進を図ることを目的としたイベントを全国各地で展開しています。当県本部では、県内JAや県と協力し、8月24日(土)に前橋青果(株)、31日(土)に花木流通センター・愛菜館において、来場者に対し野菜に関するリーフレットやうちわの配布を行い、消費者へ県産青果物の安全性と美味しさ

をPRしました。

また、31日(土)には東京・浅草のグッドぐんまの旬の市でも同様のイベントを開催し、浅草サンバカーニバルで賑わう中、観光者に対し群馬の魅力を紹介しました。

この他にも、県内外の量販店において「群馬県産野菜フェア」と題した試食や宣伝を行うなど、知名度アップを図る活動を積極的に行っています。



▲ 賑わう前橋青果(株)



▲ 花木流通センターでの消費宣伝



▲ 配布した野菜のうちわ

こだわりのトマトジュース 今年も大好評!!

9月から、当県本部は「群馬県産オリジナルトマトジュース」の販売を開始しました。原料には、日本デルモンテ(株)が開発した独自品種「デリシャスレッド」を使用した、すっきりとした飲み口が特徴のストレートのトマトジュースです。「日照時間が長く雨量が少なかったことから、今年のトマトは糖度が高い。その甘みをジュースで楽しんで欲しい。」と担当者は話します。推進期間は、**10月末日**まで。毎年心待ちにしているファンも多く、期間内でも品切れの場合がありますので、お早目にご注文ください。

低塩タイプ※1

群馬県産オリジナル
トマトジュース

パスタやスープ、リゾット
などのお料理の材料
としても便利です。

群馬県産完熟トマトを
旬にしぼったストレートの
トマトジュースです。

限定製造

1ケース・30缶入
(190g×6本×5)

Del Monte Quality
群馬県産
トマトジュース

群馬県産トマトを
旬にしぼったストレートの
トマトジュースです。

熟トマト約3個分 群馬県産トマト100%

お問合せ・ご注文先

ご注文は、お近くのJA またはJA全農ぐんまへ

JA全農ぐんま 米麦特産課

Tel 027-220-2251

※1.「低塩」は、厚生労働省・栄養表示基準により、ナトリウムが120mg/100ml以下と定義されています。(本品は83mg/100ml)

※この夏に収穫された、完熟トマトを使用しています。トマトの生育・収穫状況によっては納品時期が遅れる可能性がありますので、なにとぞご理解のほどお願い致します。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
高校生自転車交通安全教室 / JA佐波伊勢崎・JA群馬共済連	※ 9月29日(日)	AM 8:00~8:30
	9月30日(月)	PM 9:00~9:30
農業を学ぼう! チャレンジウィーク / JAたのふじ	※10月 6日(日)	AM 8:00~8:30



三隅 有里子アナ

農業 チャレンジャー

JAたのふじ



家族と共に夢のある農業を

JAたのふじ管内 松本 寿夫 さん



松本 寿夫(まつもと・ひさお)さん

1971年生まれ、42歳。
JAたのふじトマト生産販売組合
技術部 副部長を務める。
栽培面積：33a
趣味：バイク

人生の選択 農業の道へ

今回のチャレンジャーは、家族と共にトマトの施設栽培を行う松本さんです。就農したきっかけを伺うと、「31歳まで会社員として働いていました。それまで実家の農業を継ぐ気はなかったのですが、海外勤務の可能性もあったことから心機一転、『この時代なら農業も面白いかもしれない』と思い就農を決意しました。会社での仕事は自分以外の人にも出来ますが、農業に従事出来る環境下にいる人は限られていますからね。自分の意志で自由に出来ることにも魅力を感じました。」と話してくれました。

就農したばかりの頃は、長時間の農作業に体が追いつかず、両親の偉大さを身に染みて感じたという松本さん。11年経った今では、自らが経営者として活躍しています。

消費者へ届けるこだわりの味

松本さんが栽培しているのは、食味にこだわった大玉品種（マイロック）とフルーツトマト（甘しずく）で、それらを使用した加工品の製造も行っているそうです。「トマトジュースやドライトマトを県内の飲食店やイベント等で販売しています。加工品は妻が担当し

ているのですが、女性ならではの観点で6次産業化を取り入れたことで、経営に広がりがありました。栽培して出荷するだけでは聴けなかった、消費者からの「美味しい」の声も励みになります。今はまだ趣味の延長といった感じですが、いきいきと働く妻の姿には元気づけられています。」と話してくれました。

夢に向かって前進

松本さんは「JAたのふじトマト生産販売組合」に所属し、技術部の副部長として活動しています。講習会や試験栽培を行うなど、組合員が一丸となって栽培技術の向上を目指しているそうです。「組合には40軒の農家が参加し、若手からベテランまで、様々な経験を積んだ人たちが集まっています。その中で、会社員時代に養われた、物事を客観的に見る力は大いに役立っています。」と話してくれました。

今後の展望を伺うと、「生産者の高齢化が進む中で選果場を機能させるためにも、規模拡大を視野に入れています。また、少しずつ6次産業化を進めていく中で、カフェや観光農園の開設といった夢も持つようになりました。これからの楽しみです。」と笑顔で話す松本さん。今後の活躍が期待されます。





1



2



3



4

- 1 「育てやすさより、美味しさにこだわったトマトを育てたい」と松本さん。
- 2 今(8月)は、育苗時期。定植に向けての準備も行っている。
- 3 トマトジュースとドライトマト。口コミで人気が広まり、心待ちにするファンも。
- 4 松本さんのハウス。今後は規模を拡大させていきたいという。



がんばってまーす!

INTERVIEW

JA北群渋川
営農部 農産企画課

岡部 英輔さん

Profile

おかべ えいすけ (25歳)

趣味……………読書・スポーツ観戦

座右の銘……………為せば成る

好きな食べ物……………そば

●職場の皆さんから見た岡部さん

「落ち着きがあり、とても頼りがいがあります。一緒に働いていて楽しいです!」

「幅広い知識を身につけることで成長」

——現在の仕事内容を教えてください。

米麦担当として、ライスセンターでの麦集荷販売業務や育苗センターの稼働業務等を行っています。

——以前は、どのような仕事をしていたのですか？

昨年度までは営農経済課に所属し、野菜担当として生産者への営農指導や圃場巡回等を行っていました。

——なぜJAで働こうと思ったのですか？

実家は非農家ですが、「地域に密着した仕事に就きたい」という強い思いから就職を決意しました。

——実際に入組してみてもうですか？

当初は、分からないことだらけで不安な時もあり、生産者の方と話すだけで緊張してい

ました。しかし、知識や経験を積むことで人脈も広がり、地域農業へ貢献する仕事にやりがいを感じるようになりました。何よりも、生産者の方からの感謝の言葉が励みになっています。

——趣味は読書とスポーツ観戦とのことですが、最近読んだ本は何ですか？

東野圭吾原作の「ガリレオシリーズ」という推理小説です。

——スポーツは何を観るのが好きですか？

サッカーです。

——他にも好きなことがあれば教えてください。

音楽ですね。聴くことはもちろんですが、演奏することも好きです。学生時代は吹奏楽部に所属し、テナー・サクスを担当していました。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

米麦担当になって半年。まだまだ覚えることもたくさんありますが、知識の幅を広げる良い機会だと思い頑張っています。これからも、新しいことに積極的にチャレンジしていきたいですね。

岡部さん、お忙しい中ありがとうございました。これからも生産者の皆さんの為に頑張ってください。

▼工作中的の岡部さん



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は8月26日に7月の牛乳製品統計を公表した。7月生乳生産量は63万2,103tで前年同月比1.9%の減となった。北海道は33万2,726t(前年同月比1.5%減)で生産量の全国シェアは52.6%となった。

都府県の生産量は29万9,377tとなり、前年同月比で2.3%減少した。

■販売及び乳製品情勢

7月の用途別処理量は、牛乳等向けが34万9,569t(前年同月比0.4%増)、乳製品向けが27万7,756t(〃4.6%減)となった。

飲用牛乳等生産量は30万4,917kl(〃0.9%減)で前月から0.5ポイント増加し、内牛乳が26万3,295kl(〃0.2%増)、さらに乳飲料は13万0,472kl(〃3.3%増)で前月より0.3ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳生産量	全国	644,121	594,620	664,447	650,222	671,097	638,214
	群馬(委託実績)	18,743	17,425	19,910	19,599	19,959	18,641
	本会(委託実績)	5,725	5,354	6,125	6,558	6,640	6,158
用途別処理量	飲用牛乳等向け	320,541	301,201	320,571	324,209	346,307	346,396
	乳製品向け	318,662	288,565	339,160	321,246	320,073	287,092
	その他向け	4,918	4,854	4,716	4,767	4,717	4,726
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	96.8	99.7	100.1	100.0	99.4
	〃(群馬)	99.2	95.5	99.5	100.1	99.8	99.5
	〃(本会)	97.3	93.2	96.1	105.7	106.4	106.2
	飲用牛乳等向け	98.5	93.2	98.0	98.9	98.8	98.6
	乳製品向け	101.0	100.9	101.4	101.4	101.3	100.4
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	632,103						4,494,824
	18,295						132,571
	5,996						42,556
	349,569						2,308,794
	277,756						2,152,554
	4,778						33,476
	98.1						99.1
	99.4						99.0
	106.1						101.6
	100.4						98.1
	95.4						100.3

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(9月予想) 素牛不足を背景に出荷頭数が減少しているが、米国産の月例規制変更もあって輸入牛肉の取り扱いも増えており弱含みで推移。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,100円中心
和牛去勢A4 1,850円中心

和牛去勢A3 1,700円中心
和牛去勢A2 1,380円中心
交雑去勢B5 1,690円中心
交雑去勢B4 1,390円中心
交雑去勢B3 1,200円中心
交雑去勢B2 1,150円中心
乳牛去勢B2 750円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計	
和牛去勢A4	24年	1,551	1,467	1,537	1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,638
	25年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832					1,796
	前年格差	144	283	248	145	188	236	200	242					158
和牛去勢A3	24年	1,314	1,230	1,334	1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,436
	25年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649					1,650
	前年格差	271	385	299	234	235	234	219	300					214
和牛去勢A2	24年	1,018	1,066	1,153	1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,252
	25年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405					1,428
	前年格差	162	353	326	275	132	207	192	218					176

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
24年	1,042	932	1,294	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	15,697
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098					8,435
前年増減	▲42	191	▲269	▲34	84	▲269	▲341	▲308					▲7,262

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 412円/kg(前月比97.2%)
- ②F1価格(去勢) 250~300kg 1,005円/kg中心(雌) 250~300kg 908円/kg中心
- ③和牛子牛(去勢) 529千円中心(前月比102%) (雌) 456千円中心(前月比103%)

養豚情勢

枝肉相場関係

群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
23年(A)		400	473	463	477	460	537	509	473	431	351	384	436	450
24年(B)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(C)		363	390	404	450	499	485	498	507					450
(B-A)		▲10	▲80	▲75	▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲38
(C-B)		▲27	▲3	16	53	79	6	55	39					38

豚肉価格形成要因

群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	24年	43,106	42,665	43,703	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	504,664
	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843					322,813
前年比(%)		105.4	94.0	95.7	102.6	98.2	92.0	105.3	98.0					64.0

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4月	5月	6月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10~12月	1月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,447	1,421	1,257	4,125	1,374	1,310	1,358	4,042	1,578	1,554	1,582	4,714	1,494
前年同月比(%)		105	102	97	101	104	98	106	103	103	101	104	103	103

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、9月の出荷見込頭数は1,358千頭（前年同月比106%）となっている。その後は10月1,578千頭（〃103%）、11月1,554千頭（〃101%）と予想されている。9月の出荷予測は前年比6%増の水準であり、気温の低下に伴い産肉量も増え、相場は月後半から徐々に下げるとの見方が強い。円安などの影響で輸入量は引き続き前年を下回ると見られ、加工原料のモモやウデなどは底堅い展開が見込まれる。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

13年9月200円(見込み) 114%(前年比)

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		149	185	178	182	168	161	160	157	176	193	209	230	179
25年(B)		171	190	175	172	164	155	157	175					170
(B-A)		22	5	▲3	▲10	▲4	▲6	▲3	18					▲9
全国基金補填	24年	24.3	4.104	15.318	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	
	25年	18.999	0	9.774	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306					

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：8月の平均単価は175円(前年同月+18円)と前年同月を上回り、平成24年9月～平成25年8月期平均は181円(前年同期比+6円)であった。

■出荷動向：残暑により産卵率が落ち込み供給は少なめだが、老鶏の淘汰を促し生産量を絞る「成鶏更新・空舎延長事業」が終了したため供給増の可能性もある。

■需要動向：後半は2度の3連休の行楽需要と月末の特売需要などで引き合いが強くなる見込み。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入実績(t)	24年	2,356	1,930	2,508	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	27,683
	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776							12,006
	前年比(%)	78.0	101.6	79.7	128.2	93.5	80.8							43.4
餌付羽数(千羽)	24年	7,436	7,459	8,065	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	91,186
	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200						52,656
	前年比(%)	97.0	98.1	93.2	97.9	98.6	101.5	92.7						57.7

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 21年:175円
 (1) 15年:151円 (4) 18年:184円 (8) 22年:194円
 (2) 16年:173円 (5) 19年:169円 (9) 23年:188円
 (3) 17年:204円 (6) 20年:193円 (10) 24年:181円

■原料情勢

①とうもろこし(シカゴ定期)

8月12日発表の米国農務省需給見通しによると、12/13年度産とうもろこしの供給量は、輸入量が前回発表から5百万ブッシェル増加し、11,934百万ブッシェルとなった。

需要面では、輸出向け需要が15百万ブッシェル増加し、11,215百万ブッシェルとなった。この結果、12/13年度産の期末在庫は719百万ブッシェルと前回発表から10百万ブッシェル減少し、期末在庫率は6.41%となる見通し。

13/14年度産の供給量は、期首在庫の減少に加え、単収見通しが下方修正されたため、生産量が減少し、前回発表から197百万ブッシェル減少し、14,512百万ブッシェルとなった。

需要面では、新穀の生産量減少見通しを受け、飼料向け需要が減少すると想定されることに加え、他産地との競合などにより、輸出向けの減少も見込まれているため、前回発表から75百万ブッシェル減少し、12,675百万ブッシェルとなった。この結果、13/14年度の期末在庫は前回発表から122百万ブッシェル減の1,837百万ブッシェル(在庫率14.49%)となる見通し。

シカゴ定期は、とうもろこしの受粉期を迎えているコーンベルト地域において最適な天候に恵まれたことで、相場は軟調に推移し、一時465セント/ブッシェルまで下落した。12日に8月の需給報告が発表され、単収見通しが下方修正され、9月限は上昇し、現在は470セント/ブッシェル付近で推移している。今後もコーンベルトでは受粉に適した天候予報となっており、新穀の豊作が期待されるものの、引き続き生育遅れが見られる地域では、今後早霜被害

の懸念もあり、9月後半までの天候には引き続き注意が必要である。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、シカゴ相場の下落を受けて農家の売り控えが見られ、堅調に推移している。

②大豆粕

8月12日発表の米国農務省需給見通しによると、旧穀12/13年度については、南米からの輸入量の増加により先月より、10百万ブッシェル増加して供給量は3,219百万ブッシェルとなる見通し。需要量は搾油向け需要が先月より増加する一方、輸出向け需要が減少する見通しで、期末在庫は前回同様125百万ブッシェル、在庫率4.04%のままとなった。

新穀13/14年度の大豆需給見通しは、単収及び収穫面積の減少に伴い生産量が減少することから先月より164百万ブッシェル減少し、供給量は3,396百万ブッシェルとなる見通し。需要量は搾油向け及び輸出向けが減少し先月から88百万ブッシェル減少して、3,176百万ブッシェルとなり、この結果、新穀13/14年度の期末在庫は前回発表から75百万ブッシェル減少の220百万ブッシェル、在庫率6.93%になる見通し。

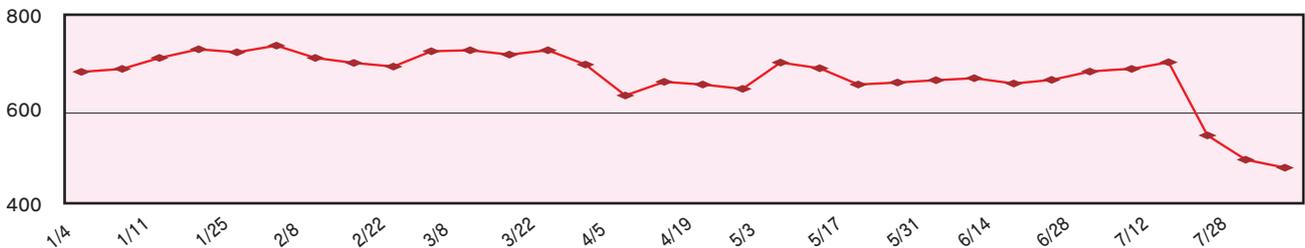
大豆粕のシカゴ定期は、7月初旬は480ドル台で推移していたが、とうもろこし相場に連動し、現在は410ドル前後となっている。

■海上運賃

米国ガルフー日本間のパナマックス型海上運賃は、夏場に入り用船料相場は軟調に推移しており、現在は4ドル前後で推移している。

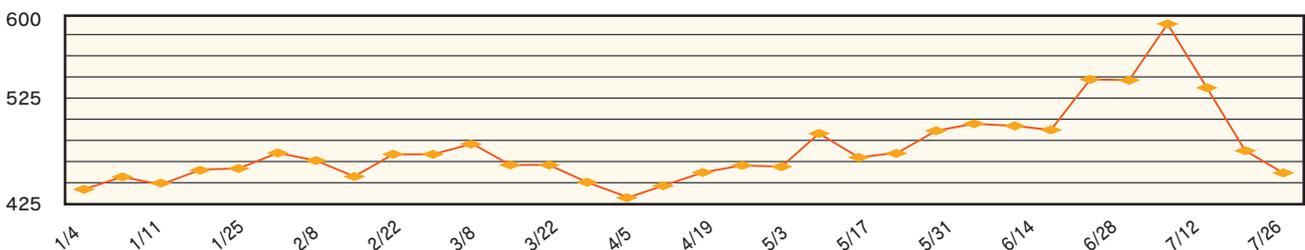
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



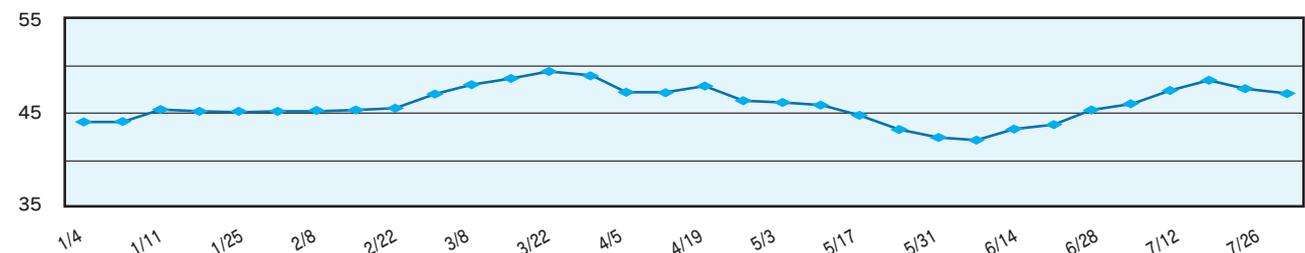
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター-便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターの「ふらわーらんど」では、ガーデニング向けの花を中心に、各種洋ランや観葉植物、可愛らしい雑貨等、様々な商品を豊富に取り揃えております。また、用途に応じたラッピングやギフト商品も人気で、誕生日やお祝い用にお好きなフラワーアレンジメントをお作りします。日頃の感謝の気持ちを込めて、お花を贈ってみてはいかがでしょうか。



10月の売出しイベント案内

開催日	内容
10月11日(金)～14日(火)	秋の収穫感謝フェア
10月24日(木) 10:00～14:00～	花の寄せ植え講習会(各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】
10月26日(土)・27日(日) 両日とも 10:00～	栽培講習会(たまねぎ) 【参加費無料・申込み不要】
10月27日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会(各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花と緑あふれる広場
か ぼく りゅう つう
花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00
(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等

お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

たさいひろば **愛菜館**
JA直販

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等

お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

JA全農ぐんま **グッドぐんまの旬の市**

営業時間:毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

◆◆◆旬の市10月のイベント案内◆◆◆

10月5日(土)	JA太田市 新鮮野菜フェア
10月5日(土)・6日(日)	収穫感謝フェア
10月12日(土)～14日(月)	秋の味覚フェア
10月19日(土)～20日(日)	チキンフーズフェア
10月26日(土)	地酒&ぐんまちゃんフェア

◆◆◆お問い合わせ先◆◆◆ 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号
TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》
〒379-2147群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



コリンキーのサラダ

材 料

4人分 (1人前167kcal)

コリンキー	1/4個
A (赤ピーマン)	2個
A (アボカド)	1/2個
モッツアレラチーズ	50g
レタス	3枚
ローズマリー	少々
B (レモン汁)	大さじ2
B (オリーブオイル)	大さじ2
B (メープルシロップ)	小さじ2
塩	小さじ1/3
コショウ	少々

作り方

- 1 コリンキーの皮をむき、厚さ3mm程のいちよう切りにする。
- 2 Aの材料をそれぞれ1cm角に切る。
- 3 レタスを一口大に切る。
- 4 ローズマリーをみじん切りにする。
- 5 ボウルに1~4の材料を入れ、Bの材料を加えよく混ぜ、冷やしてから器に盛る。



コリンキーって何？

コリンキーとは、生食用に品種改良されたカボチャです。歯触りがよく、くせがないので、サラダや漬物に最適です。